

## 「大雨から大切な命を守る！誰一人取り残さない、 逃げ遅れゼロに向けて住民避難を後押しする防災啓発」の取り組みが 「第27回 防災まちづくり大賞」で“消防庁長官賞”を受賞

中部地域づくり協会では、「大雨から大切な命を守る」ため、大雨から誰一人取り残さない防災啓発として、「伝わる」ことを意識し、幅広い年齢層、防災への興味の薄い人たちなど、全ての人に伝わる防災啓発活動に取り組んでいます。

過去の災害を学ぶ防災啓発冊子とその点字版、浸水疑似体験VR、浸水疑似体験映像（日本語・英語・ポルトガル語）、大雨への事前の備えと早期避難を促すピクトグラム「大雨にソナエルピクト」、人気ゲームソフト「あつまれどうぶつの森」を活用した避難の学習動画、バーチャル空間で展示物を自由に見て回り、災害の白黒写真を自らカラー写真へ変換することができる「デジタル展示館」などを活用し、愛知県・岐阜県を中心に、防災教育支援として小・中・高校や特別支援学校での防災講座、VR体験会、防災イベントなどで啓発を行っています。

この度、この取り組みが評価され、「第27回 防災まちづくり大賞：主催：総務省消防庁」で消防庁長官賞を受賞しました。

上記コンテンツの活用は、幅広い年齢層への啓発効果と若年層への有効性が確認でき、特にVRによる浸水疑似体験や浸水疑似体験映像の視聴は、早期避難に向けた防災意識の高まりと、避難インフルエンサーへの意識醸成に繋がっています。防災講座では、聞くことに体験が加わることで自分事として捉えることができ、より効果的な学習になっています。

また、「あつまれどうぶつの森（あつ森）」の動画やデジタル展示館は、タブレット学習にも活用ができ、楽しみながら防災が学べる事で先生や児童・生徒からも好評です。

なお、防災講座は令和元年から令和5年2月15日時点で、延べ41校、受講した児童・生徒は約2600人、VR体験者は防災講座やイベント等で、延べ約4,200人となっています。

【総務省ホームページ】

「第27回 防災まちづくり大賞」受賞団体の決定

[https://www.soumu.go.jp/main\\_content/000861673.pdf](https://www.soumu.go.jp/main_content/000861673.pdf)



\*「防災まちづくり大賞」は、阪神・淡路大震災を契機に平成8年度に創設され、地域に根ざした団体・組織等、多様な主体における防災に関する優れた取組や、防災・減災、住宅防火に関する幅広い視点からの効果的な取組等を表彰し、広く全国に紹介することにより、地域における災害に強い安全なまちづくりの一層の推進に資することを目的として実施されています。

### 問合せ先

（一社）中部地域づくり協会 地域づくり技術研究所

所長 犬飼 一博

TEL：052-871-9380

\*中部地域づくり協会は、国土の利用、整備、保全、災害防止などの事業を行い、国土の健全な発展に寄与することを目的とする一般社団法人です。



## 【取り組みの様子】



VRによる浸水疑似体験の様子



大雨にソナエルピクトのクイズで盛り上がる児童



タブレットでデジタル展示館を視聴する生徒たち



「あつ森」の動画で避難について学習する児童たち